

ニホンザル 各行動の意味

毛づくろい 1) 毛をつねに清潔に保つためです。互いに毛づくろいしあうのは、清潔にすることに加えて、お互いの親密さを増すためです。

石や草をいじる 1) とても手先が器用なので、何か遊べる道具をさがしています。
2) 小さな小麦などが土に混じっていると、ていねいに土をよけて探し出します。

木ゆすり 1) 本来は、大きな枝振りのよい枝を捜して、それを思いっきりゆすりますが、それは深い森の中で、葉をごそごそいわせて音を立て、自分の存在を示すためです。
2) ゆらゆらゆらせて、ぶらさがってみたり、コドモのサルはよくこの行動をします。何頭か続けてこの行動をすることがみられます。

水にはいる

1) 夏の暑い日は、よくこの水の中にはいります。ときには、上の木からダイビングします。
2) ときどき、凍らせたおやつなどこの池の中に入られると、このダイビングがみられます。

おいかける

ガガガガ・・・と鋭い声をあげて一方のサルがおいかけます。よく、同時に食べ物をみつけてどちらかがそれを奪うと、おいかけあいが始まります。また、何が原因かはわからないのですが、山の中腹を右から左へ、あるいは左から右へとかなりのスピードで追いかけるときがあります。オトナどうしの間でよくおこります。

「降参！」というときは、「なきつつら」といって、唇をよこにぐーっとひろげて歯を相手に見せることで、この追いかけられるのは終わります。そのとき、キーっと高い声で鳴きます。

だっこ 寒い日など、お互いにくっつきあいます。寒くなくても、2~3頭でくっついてだきあっているところを見かけます。親子や兄弟だけがだきあうのではなく、血縁がなくてもくっついていることがあります。

うまのり オスがメスにのるだけではなく、こどものときも、オスどうしも「うまのり」をしあいます。互いの順位をたしかめるとき、あるいは、遊びの一種として行われるようです。